



小池博之 議員

「真の町民祭り」に向けて 富士見オッコの未来像は

商工会・町民の声を聞き 知恵を出していきたい

質問・・・富士見オッコ祭典委員長の立場で、今年の祭りをどう総括したか。来年は第30回の節目の年、「真の町民祭り」とするために、組織のあり方を含め、祭りの将来像をどのように考えているか。

町長・・・関係機関と多くの町民の協力で、本場に盛り上がり、素晴らしい祭りとなった。

質問・・・祭りの実行部隊である商工会青年部からは「20人足らずの部員だけでは、マンパワーが足りず、2、3年後には手を引かざるを得ない」という率直な声も聞かれる。町は340万円の補助金は出しているが、「口出しも手伝いもしない」という状態。祭りの組織の見直し、再構築を真剣に

考えるべきだ。

町長・・・来年の節目の祭りを成功させるため、商工会、関係町民の声を聴き、実態を良く把握するなど知恵を出していきたい。

■都市計画道路の全面見直しについて

質問・・・町内の都市計画道路は、計画から20年が経過したが、開通したのは約1キロメートル。整備率6%と県下で最低の整備率だが、今回の見直しの基本方針は。

町長・・・20年前とは道路整備に対する社会情勢が大きく変化した。県の指導で、計画道路の見直し作業を進めている。素案に基づき、町民説明会などで理解を得たい。

建設課長・・・都市計画道路の見直しに続き、都市計画構想、用途地区指定の見直し、土地区画整理事業などとも連携していきたい。

■大災害に備えた町の防災体制は

質問・・・大地震の被害想定が発表されている中で、町の防災計画の見直しは。富士山大噴火への対応は。

町長・・・自然の大災害に想定外はない。災害に強い町づくりに向け、リーディングプロジェクトの柱として、国・県と連携し万全の対策をとる。

□その他の質問

*教員の不祥事といじめ問題について



加々見保樹 議員

災害発生後の行政機能は

団体、組織と連携し 機能維持に努める

質問・・・災害で庁舎が機能でなくなった時の対応を検討しているか。

町長・・・耐震施設として16ヶ所を指定しており、そこに本部を移す。電話不通を想定し、消防団の無線、防災無線を活用する。またフェイスブックの活用を実験中。

質問・・・理事者が死亡した場合の職務代理はきちんと確立しているか。

町長・・・副町長、総務課長、課長職の経験が長い順に指定している。

質問・・・重要情報、重要書類等の喪失を防ぐ手立ては。

町長・・・個人情報等は遠隔地でデータをバックアップしている。昔からの重要文書は地下倉庫で十分保管できる。

質問・・・職員すべての初動任務は割り当てられているか。

町長・・・初動体制は規定している。消防団、地区防災組織と連携を取り安否確認、救助を行う。

質問・・・高齢者など弱者は一時避難から高アメリニティーの整ったホテル等への二次避難が必要。そのための協定を予め結ぶ考えは。

町長・・・生活困難という方を優先的に、町内の少年自然の家、ジェネス八ヶ岳等を考えている。

■高齢者運転免許自主返納について

質問・・・4月から施行した実績は。

町長・・・5名が返納、平均年齢は86・8歳。近隣市町村との人口比では返納率は高い方だと思つ。

質問・・・返納者には生涯身分証明書として使える「経歴証明書」が交付される。それもPRしたかどうか。

産業課長・・・写真入りの住基カードも発行される。すずらん号の利用促進と合わせて検討する。

■有料広告募集について

質問・・・4月から開始した有料広告の応募状況は。

町長・・・5件の応募があり、1件掲載した。募集は続けるが、これ以上経費をかけて積極的にやる考えはない。

質問・・・他に比べ積極性が感じられず、募集していることが分かりにくい。

町長・・・業者に委託してまでやるうとは思わない。